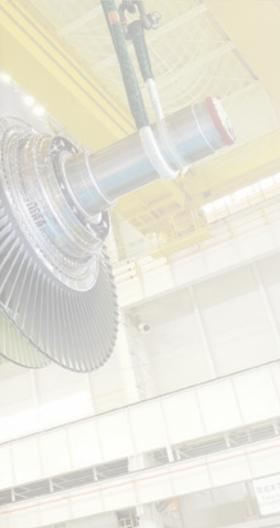


ごあいさつ

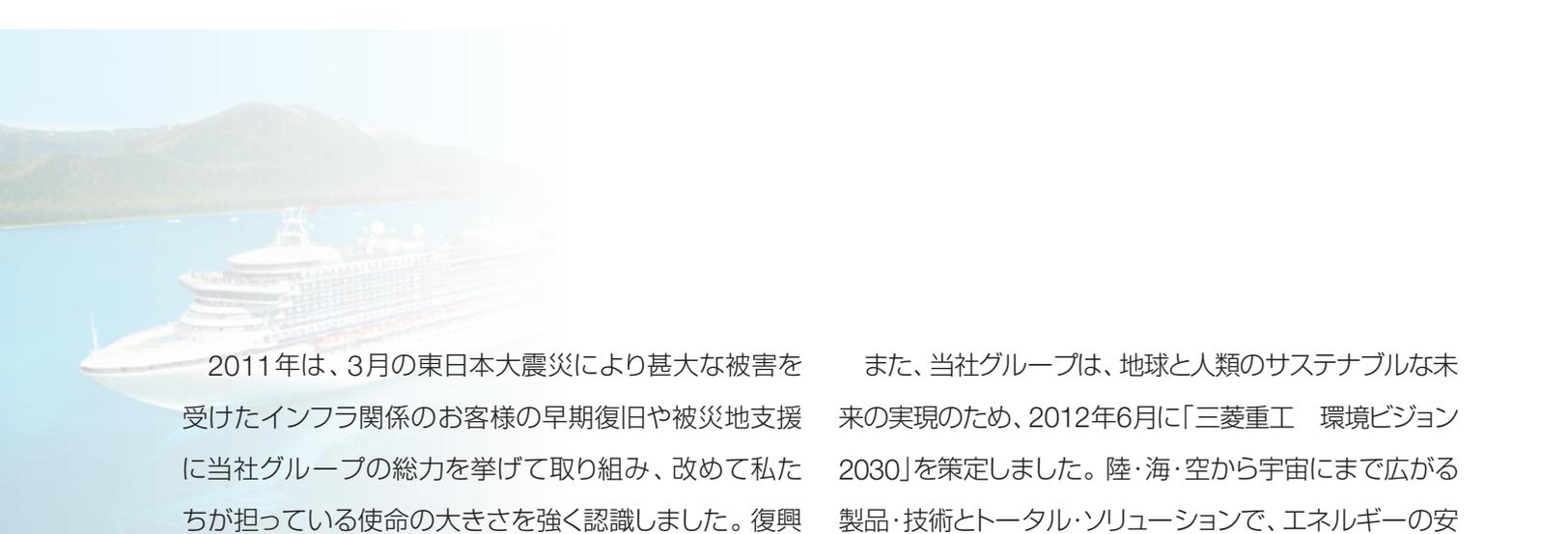


取締役会長
佃 和夫

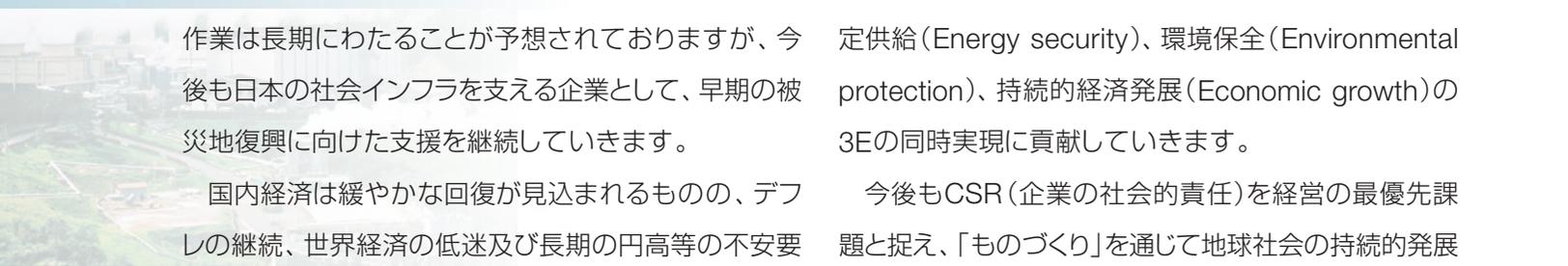
取締役社長
大宮 英明

この星に、たしかな未来を。

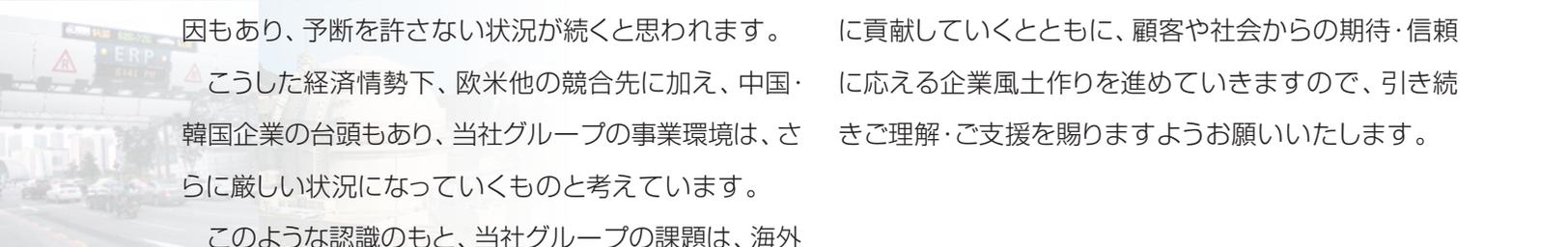
Our Technologies, Your Tomorrow



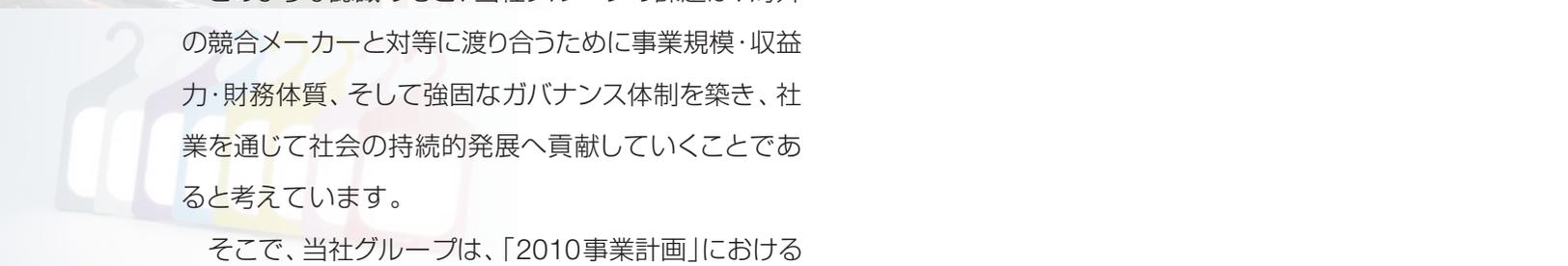
2011年は、3月の東日本大震災により甚大な被害を受けたインフラ関係のお客様の早期復旧や被災地支援に当社グループの総力を挙げて取り組み、改めて私たちが担っている使命の大きさを強く認識しました。復興作業は長期にわたることが予想されておりますが、今後も日本の社会インフラを支える企業として、早期の被災地復興に向けた支援を継続していきます。



国内経済は緩やかな回復が見込まれるものの、デフレの継続、世界経済の低迷及び長期の円高等の不安要因もあり、予断を許さない状況が続くと思われま



す。こうした経済情勢下、欧米他の競合先に加え、中国・韓国企業の台頭もあり、当社グループの事業環境は、さらに厳しい状況になっていくものと考えています。



このような認識のもと、当社グループの課題は、海外の競合メーカーと対等に渡り合うために事業規模・収益力・財務体質、そして強固なガバナンス体制を築き、社業を通じて社会の持続的発展へ貢献していくことであるとと考えています。

そこで、当社グループは、「2010事業計画」における「改革プログラム」と「成長プログラム」を継承しつつ、2012年4月から、社会の環境変化も踏まえた新たな中期経営計画である「2012事業計画」をスタートしました。本計画では、「事業規模の拡大」と「資本効率及び純利益水準の向上」を目標としており、「4つの事業領域への集約・再編による強みとシナジー発揮」、「グローバル展開の加速」、「戦略的事業評価によるポートフォリオマネジメント」、「コーポレート改革・効率化」、「企業統治・業務執行における経営革新」といった5つの戦略に取り組んでいきます。

また、当社グループは、地球と人類のサステナブルな未来の実現のため、2012年6月に「三菱重工 環境ビジョン2030」を策定しました。陸・海・空から宇宙にまで広がる製品・技術とトータル・ソリューションで、エネルギーの安定供給 (Energy security)、環境保全 (Environmental protection)、持続的経済発展 (Economic growth) の3Eの同時実現に貢献していきます。

今後もCSR (企業の社会的責任) を経営の最優先課題と捉え、「ものづくり」を通じて地球社会の持続的発展に貢献していくとともに、顧客や社会からの期待・信頼に応える企業風土作りを進めていきますので、引き続きご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

佃 和夫

取締役会長

大宮 英明

取締役社長